

音楽科 9年生 題材名 『生活における音楽の役割やその価値とは～学校紹介の CM 音楽づくりを通して～』 授業実践・授業研修	
日時	11月20日(水)5時間目
授業者	井上 翔太
本時のねらい	班で構成を考えながら1つの旋律を創作することができる。
題材計画	第1次 CM 音楽の特徴について理解しよう。……………1時間 第2次 校内で撮影した写真や動画、国語科で考案した言葉をもとに個人で旋律を創作しよう。……………1時間 第3次 班で協力して学校を紹介する CM 音楽を創作しよう。……………1時間(本時1/1) 第4次 学校を紹介する CM の発表会をしよう。……………1時間
授業の実際 (本時の流れ)	(1) flat for education の共同編集の機能を使って、前時に創作した、4小節の作品を班の中でつなげて4小節×4人の16小節の作品とした。 (2) 作品を鑑賞する中で、ただつなげただけの旋律と旋律とのつながりの希薄さや全体の変化などの違和感を感じる部分に着目しながら改善点を考える活動を行った。 (3) 前時に作成した、16小節をどのように構成しているかということに記載した班ごとのシートを参考にしながら、そのシートに書かれていることをどのように音楽で表現できるかということを考えながら作品を協働的に修正する活動を行った。 (4) 作品を聴く視点を示し、その視点に基づいて隣の班の作品を鑑賞し、そこから感じたことを伝え、音楽の作り手と聴き手の印象のズレに着目しながら、次の時間の活動の見通しをもつ活動を行った。
事後協議の概要	11月30日の公開研究会で提案する授業に関連したものであり、創作における協働性ということについて、提案性のあるものであった。一方で、創作における技能の獲得や技能への理解については、指導者が明確に示したり、体感的に理解できるような活動を行ったりする必要があった。

